

活動報告（8月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 生産振興課

表題：JAとぴあ浜松のキャベツ産地に合う省力的な育苗に関する試験を行っています

日時：令和6年8月21日（水）

場所：静岡県磐田市

令和6年8月21日に、静岡県農林技術研究所のほ場で底面給水育苗試験の4回目の調査を行いました。

本試験は、静岡県農林技術研究所、JAとぴあ浜松、西部農林が協力して行っています。

JAとぴあ浜松では、加工業務用のキャベツの生産が盛んですが、育苗・定植・収穫が、労力を逼迫しやすい作業となっています。

特に育苗作業は、夏の暑い時期に1日3回、培土の乾き具合を見ながら手作業で水やりしており、労力が大きい上に経験が必要な作業となっています。

過去にJAでは、手作業に代わる物として、ミストやチューブによる散水を試みましたが、水分ムラが発生した経緯があります。

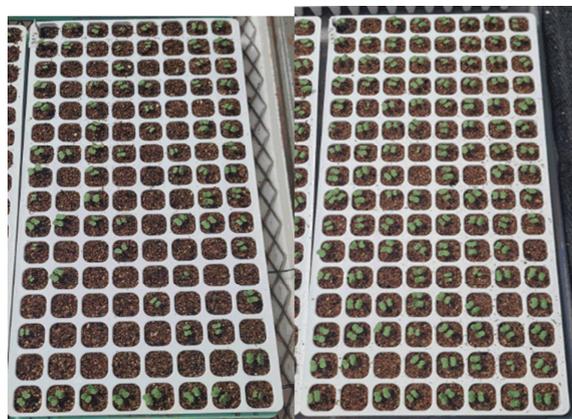
今年は他県で成果のある底面給水方式を採用し、当産地での育苗にも適するか試験を行っています。

底面給水育苗は手作業による水やりと比べ、省力的かつ均一に水が供給され、安価に設備が作成できる点がメリットです。

調査の結果、底面給水区では手作業水やり区と比べ、発芽率は良好でしたが、水分の供給が多く、定植機で使用するには大きすぎる苗となりました。

今後、底面給水区でより水やりの量を少なくし、定植機での使用に適した苗を生産できるかを引き続き試みる予定です。

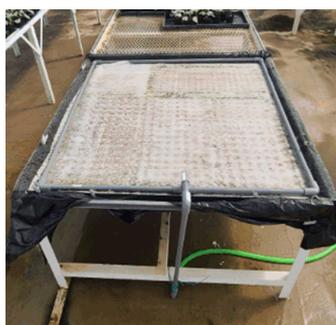
西部農林では、引き続き関係機関と協力し、キャベツ産地を支援していきます。



↑ 発芽率（左：手作業による水やり、
右：底面給水）



← 苗・根の生育
（左：手作業による水やり、
右：底面給水）



← 試験用の簡易底面給水設備
（スミサンスイ使用予定部分を
塩ビパイプで代用）